

別紙3（モニタリング実施要領関係）

モニタリング用チェックリスト（間伐）

構成員名：嶺南地域林業共同事業体	実施日：2024. 2. 8
構成員責任者：代表理事組合長 小谷康弘	実施者：山口雄幸・木原克敏
実施箇所（林班）：小浜市下根来	

1. 除間伐作業

作業手順

項 目		チェック	コメント
(1)	機械的間伐（列状間伐）の伐採列は、効率的な集材や残存木の損傷の軽減を図るため、最大傾斜方向とすること。	✓	
(2)	機械的間伐以外の伐採木は、次のものから優先的に伐倒すること。 ① 病虫害等の病木 ② 被圧木 ③ 曲がり木 ④ あばれ木 ⑤ 並の木	✓	
(3)	伐倒により掛り木になった場合は、その都度、適切に処理すること。	✓	
(4)	伐倒にあたっては、残存木への損傷を最小限にすること。	✓	
(5)	つる類が残存木に巻き付いている場合は、切断除去すること。	✓	
(6)	あばれ木の枝、又は樹幹の形質を損するおそれのある枝は、適宜枝打ちすること。	✓	
(7)	伐倒木が、残存木の生育に支障のある場合及び道路上、境界わきにある場合は、適切に処理すること。	✓	
(8)	間伐にあたっては、間伐前の立木密度を考慮しながら植栽木の概ね35%を上限とし伐倒すること。	✓	

環境配慮

項 目		チェック	コメント
(1)	可能な限り広葉樹を残し、林地保全に配慮すること。	✓	
(2)	間伐のための下刈りは、伐木等作業の際の安全を確保しつつ必要最小限にすること。	✓	
(3)	伐倒にあたっては、残存木への損傷を最小限にすること。	✓	
(4)	急傾斜地においては、伐倒木は幹が地面につくようにして等高線沿いに置くこと。	✓	
(5)	河川等にかかっている又は、流れ込む恐れがある倒木を処理すること。	✓	
(6)	急激な環境変化を避けるため、特に崩壊の恐れのある林分では繰り返し間伐を行い、適正な密度管理を行う。	✓	
(7)	土壌侵食のみられる林分では、強度間伐により自然植生を促し混交林化を図る。	✓	

2. 環境に配慮した作業の実施

(1) 車輛、機械類の管理

項 目		チェック	コメント
①	車輛、機械器具類は、常時整備点検を行うこと。	✓	
②	機械器具類の整備時に油脂の林内への流出を防止すること。	✓	
③	車輛の不必要なアイドリングは行わないこと。	✓	

(2) 水質保全

項 目		チェック	コメント
①	油脂等の交換、補給は、溪流付近では行わないこと。	✓	
②	河川、溪流付近では、特に水質に悪影響を与えないよう十分配慮し作業を行うこと。	✓	

(3) 土砂災害防止

項 目		チェック	コメント
①	立木等伐採したものについては、沢に集積しないこと。	✓	
②	除間伐作業を行う場合は、可能な限り広葉樹を残し、林地保全に配慮した作業を行うこと。	✓	
③	急傾斜地では、伐倒木を等高線沿いに置き、土砂の流出を防止すること。	✓	

(4) 廃棄物の処理

項 目		チェック	コメント
①	作業現場において発生する廃棄物については林内に残さず、すべて持ち帰り、適切に処理すること。	✓	

(5) 山火事予防

項 目		チェック	コメント
①	作業用機械器具の取扱いには十分注意し、機械使用中の発火に注意すること。	✓	
②	喫煙には十分注意すること。	✓	
③	山菜採りやハイカーに対しても、山火事予防の啓発を行うこと。	✓	

※添付書類：実施箇所の地図及び実施時の写真

別紙 4（モニタリング実施要領関係）

モニタリング用チェックリスト（伐採・搬出）

構成員名：嶺南地域林業共同事業体	実施日：2024. 2. 8
構成員責任者：代表理事組合長 小谷康弘	実施者：山口雄幸・木原克敏
実施箇所（林班）：小浜市下根来	

1. 伐採・搬出作業

作業手順 環境配慮

項 目		チェック	コメント
(1)	地形、林分の状態、林道の配置、集材距離等を考慮し、最も効率がよく、対象林分及び自然環境に負荷の少ない作業方法を選択すること。	✓	
(2)	伐採木の枝条、木屑等は、河川、溪流に入れないこと。	✓	
(3)	収穫材、残存木の破損は、最小限にすること。	✓	
(4)	資材等の放置はしないこと。	✓	
(5)	搬出の際、林道、その他路肩等を傷めないよう、十分に配慮すること。	✓	
(6)	年間を通じて流水のある河川、溪流の周辺は、緩衝帯（バッファゾーン）として保全し、混交林への誘導を図ること。	✓	
(7)	伐採した木材が最も高い価格で取引されるような採材に努めるとともに、木材の有効利用を図ること。	✓	

2. 環境に配慮した作業の実施

（1）車輛、機械類の管理

項 目		チェック	コメント
①	車輛、機械器具類は、常時整備点検を行うこと。	✓	
②	機械器具類の整備時に油脂の林内への流出を防止すること。	✓	
③	車輛の不必要なアイドリングは行わないこと。	✓	

（2）水質保全

項 目		チェック	コメント
①	油脂等の交換、補給は、溪流付近では行わないこと。	✓	
②	河川、溪流付近では、特に水質に悪影響を与えないよう十分配慮し作業を行うこと。	✓	

（3）土砂災害防止

項 目		チェック	コメント
①	立木等伐採したものについては、沢に集積しないこと。	✓	
②	除間伐作業を行う場合は、可能な限り広葉樹を残し、林地保全に配慮した作業を行うこと。	✓	
③	急傾斜地では、伐倒木を等高線沿いに置き、土砂の流出を防止すること。	✓	

(4) 廃棄物の処理

項 目		チェック	コメント
①	作業現場において発生する廃棄物については林内に残さず、すべて持ち帰り、適切に処理すること。	✓	

(5) 山火事予防

項 目		チェック	コメント
①	作業用機械器具の取扱いには十分注意し、機械使用中の発火に注意すること。	✓	
②	喫煙には十分注意すること。	✓	
③	山菜採りやハイカーに対しても、山火事予防の啓発を行うこと。	✓	

※添付書類：実施箇所の地図及び実施時の写真

モニタリング用チェックリスト（定点観測）

日 時	令和6年7月19日 9時00分～	
場 所	住所、林班名、樹種、林齢等を記入 ① 小浜市下根来 79 号布谷 1-1（144 林班） R 4 実施区域…スギ 62年生 R 5 実施区域…スギ 66年生	
実 施 者	責任者 主任 吉田 悦久	主事 上山 陽介
植生調査等内容	（植生の様子や外来種の侵入・拡大等の森林の異常、昨年度からの変化等、内容を具体的に記入） ・列状間伐実施区域内において5m×5mのプロット調査により、植生の状況を調査。プロットはR 4 実施区域、R 5 実施区域で1箇所ずつ設置し、計2箇所で開催を実施。 ・R 4 実施区域のプロットでは、木本の侵入はなく、主にシダ類が繁茂している。シダ類以外の草本も少量ではあるが確認できた。 ・R 5 実施区域のプロットでは、小高木のシロダモの侵入が見られ、下層には、シダ類が繁茂している。	
特 記 事 項	（林道・法面等の状況、希少種の確認、不法投棄、病虫獣風害、等）	

※添付書類：実施箇所の図面及び実施時の写真

モニタリング用チェックリスト（保護区巡視）

日 時	令和 6 年 7 月 1 9 日 9 時 0 0 分～	
場 所	住所、林班名、樹種、林齢等を記入 ① 小浜市下根来 79 号布谷 1-1（144 林班） R 4 実施区域…スギ 6 2 年生 R 5 実施区域…スギ 6 6 年生	
実 施 者	責任者 主任 吉田 悦久	主事 上山 陽介
実 施 内 容	(具体的に記入) ・ 区域を巡回し、倒木状況や不法投棄の有無などを確認 ・ 異常なし	
特 記 事 項	(林道・法面等の状況、希少種の確認、不法投棄、病虫獣風害等の森林の異常等)	

※添付書類：実施箇所の図面及び実施時の写真

【R4 実施区域 定点観測地①】



プロット調査



プロット周辺

【R5 実施区域 定点観測地②】



プロット調査



プロット周辺

【保護区巡視①】



R4 実施区域

【保護区巡視②】



R5 実施区域